

## 9 月 30 日 : VN 指数は投資家心理が悪化し小幅安 (VN-Index - 0.23%)

- 先週の取引では 1300 ポイントを上回ることができず、本日も VN 指数は前営業日終値を下回って開始した。
- 市場心理は悪化した。銀行や不動産などの主要セクターの方向感はまちまちであったが、総じて資金流入は少なかった。
- そのような相場の中で指数は一日の大半を前営業日終値の下で推移した。
- その一方で一定数の買いは継続しており、下落幅を拡大させることなく小幅安となった。
- 153 銘柄が上昇、241 銘柄が下落、70 銘柄が変わらずとなった。
- 流動性は大幅に低下し、24.2%減の 26.3 兆ドンとなった。

### VN30 指数は横ばいで推移 (VN-30 -0.00%)

- 大型株で構成される VN30 指数は、8 銘柄が上昇、19 銘柄が下落、3 銘柄が変わらずとなった。
- VHM (-1.38%)、VIC (-1.18%)、VRE (-1.55%)、VNM (-1.27%)、BCM (-1.54%)などが下落。指数を大きく引き下げた。
- 一方で HPG (+1.15%)、TPB (+1.78%)、VPB (+1.77%)が下支えした。

### セクター・個別株の動き

- VGT (+3.55%)はバングラデシュの情勢不安によるベトナムへの移行により、2024 年 9 月までの売上は 13.03 兆ドン（前年同期比+1%）、税引き前利益は 4,900 億ドン（同 70%）となった。
- NVL (-4.33%)は監査済みであった 2024 年上期の業績を下方修正した。同社は 3,450 億ドンの純利益を記録していたが、7.2 兆ドンの純損益に修正された。

- 外国人投資家は 4,870 億ドルの売り越しであった。HPG (+1.15%)、STB (-0.74%)が主要な売り越し銘柄だった一方、買い越しが顕著であった銘柄は特にみられなかった。

---

## ディスクレイマー

このニュースは、投資の参考となる情報の提供を目的としたもので、投資勧誘を目的として作成したものではありません。投資に関する決定はご自身の判断でなされますようお願い申し上げます。このニュースは、信頼できると考えられる FiinPro という情報源に基づいて作成されていますが、その情報の正確性、完全性を保証するものではありません。このニュースは、Japan Securities Co., Ltd (JSI)から直接提供するという方法でのみ配布いたしております。このニュースのいかなる部分も一切の権利は JSI に帰属しており、電子的または機械的な方法を問わず、いかなる目的であれ、無断で複製または転送等を行わないようお願いいたします。